

令和3年 1月～3月期 作州津山商工会景況調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合計
24	31	29	36	120

～全体～

第四四半期（前回調査）に比べると、全体的に回復傾向にあります。特に売上・採算・資金繰りはマイナス水準ではあるものの、第四四半期に比べると若干持ち直しており、今後の見通し（令和3年4～6月）は製造業・サービス業で悪化予想となっております。

～天気図の指標～

状況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～業種別比較表～ 前年同期(令和2年1月～3月)との比較

◎製造業

状況	前年同期比 売上高	前年同期比 仕入単価	前年同期比 採算	前年同期比 労働力	前年同期比 資金繰り
天気図					
D I	-4.2	-25.0	-25.0	12.5	-12.5

◎建設業

状況	前年同期比 売上高	前年同期比 仕入単価	前年同期比 採算	前年同期比 労働力	前年同期比 資金繰り
天気図					
D I	-19.4	-35.5	-19.4	12.9	-3.2

◎小売・卸業

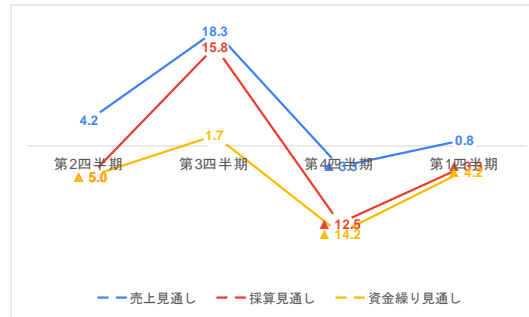
状況	前年同期比 売上高	前年同期比 仕入単価	前年同期比 採算	前年同期比 労働力	前年同期比 資金繰り
天気図					
D I	-31.0	-10.3	-27.6	20.7	-3.4

◎サービス業

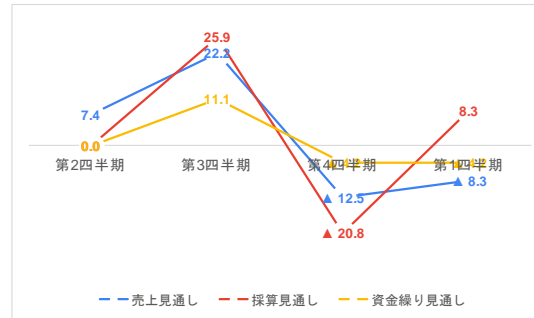
状況	前年同期比 売上高	前年同期比 仕入単価	前年同期比 採算	前年同期比 労働力	前年同期比 資金繰り
天気図					
D I	-22.2	0.0	-36.1	22.2	-19.4

～グラフによる今後の見通し～

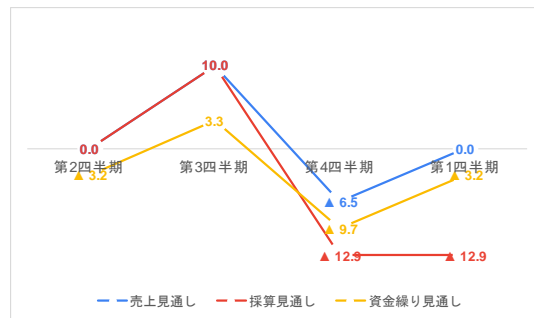
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



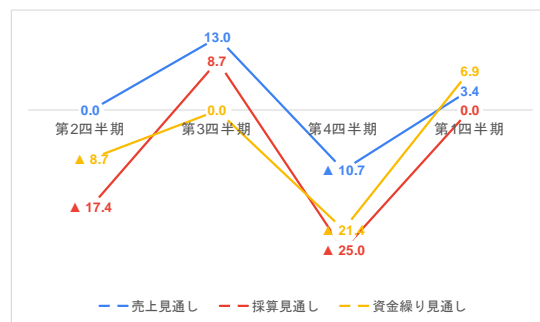
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



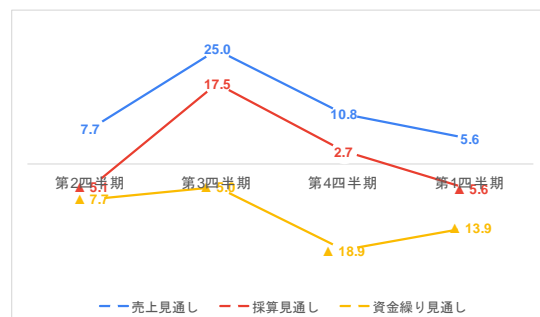
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し

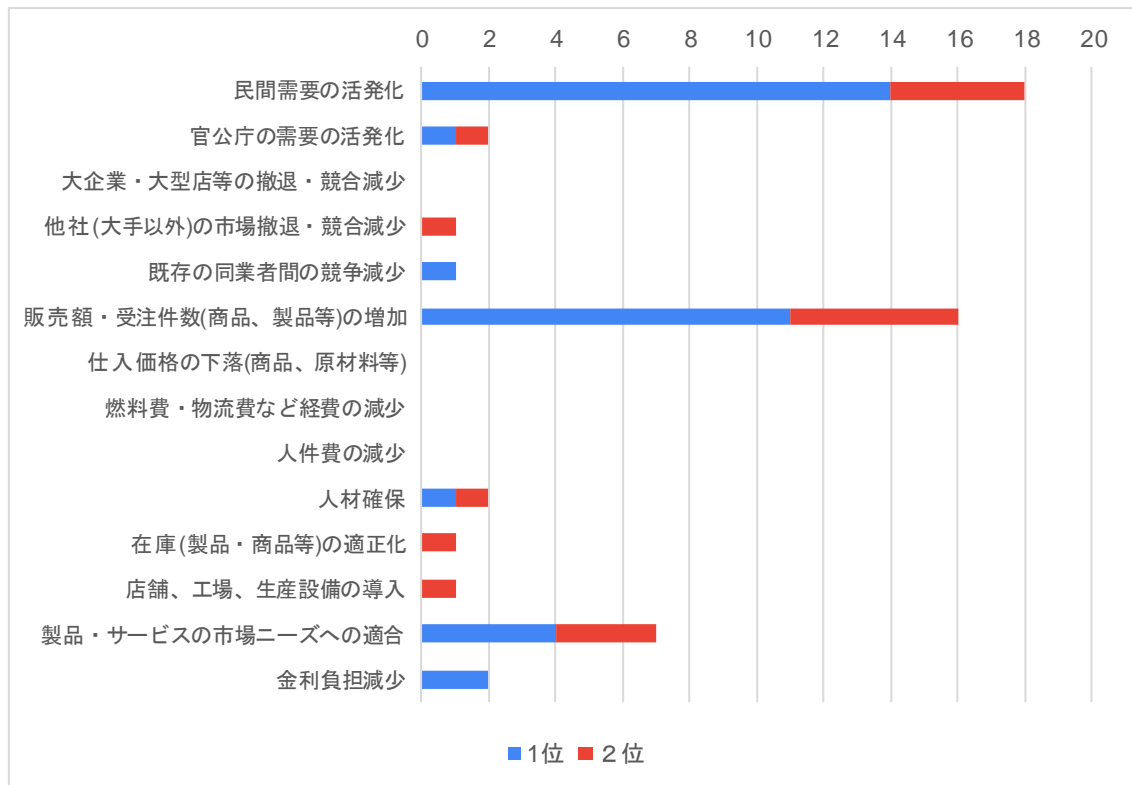


◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し



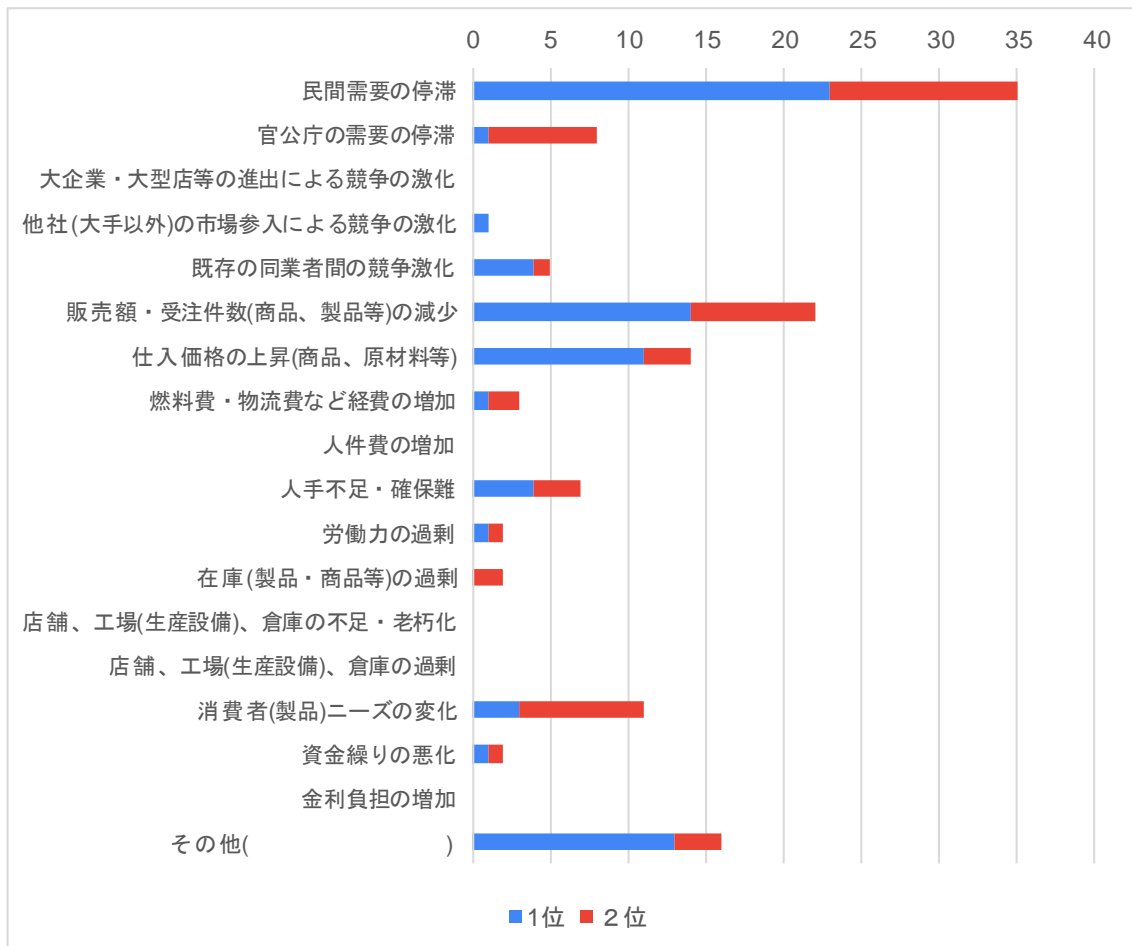
～景況が好転・増加した理由～

販売や受注が増加したことで業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

新型コロナウイルスの影響による販売・受注減が大きく影響しています。



調査結果の概要

<全体 ～令和2年第四四半期に続き回復傾向にあるものの、引き続き厳しい状況～>

第四四半期(前回調査)に比べると、全体的に回復傾向にあります。

特に売上・採算・資金繰りはマイナス水準ではあるものの、第四四半期に比べると若干持ち直しています。

今後の見通し(令和3年4～6月)は製造業・サービス業で悪化予想にあります。

<製造業 ～見通しでは売上・採算・資金繰りで悪化予想、特に資金繰り面に課題～>

売上DIは▲4.2(前回▲29.2)、採算DIは▲25.0(前回▲33.3)、資金繰りDIは▲12.5(前回▲20.8)となりました。

今後の見通し(令和3年4～6月)は売上DI・資金繰りDIで悪化予想にあります。

<建設業 ～見通しでは売上・採算で悪化予想～>

売上DIは▲19.4(前回▲19.4)、採算DIは▲19.4(前回▲25.8)、資金繰りDIは▲3.2(前回16.1)となりました。

今後の見通し(令和3年4～6月)はマイナス水準であるものの若干の改善傾向にあります。

<卸・小売業 ～売上・採算・資金繰りで引き続き厳しい水準、見込みも悪化予想～>

売上DIは▲31.0(前回▲32.1)、採算DIは▲27.6(前回▲25.0)、資金繰りDIは▲3.4(前回▲28.6)となりました。

今後の見通し(令和3年4～6月)は全体的に改善傾向にあります。

<サービス業 ～売上で引き続き厳しい水準、見込みでも資金繰りが課題～>

売上DIは▲22.2(前回▲27.0)、採算DIは▲36.1(前回▲32.4)、資金繰りDIは▲19.4(前回▲35.1)となりました。

今後の見通し(令和3年4～6月)は採算DIで悪化予想にあります。

<業種別業況>

売上・採算は全業種で若干の持ち直しが見られるものの、依然マイナス水準にあります。

採算見通しではサービス業が大きく悪化しています。

<時系列比較>

売上はマイナス水準が続くものの、若干回復傾向にあります。

採算はマイナス水準が続き、低位に止まっています。

資金繰りはマイナス水準が続き、低位に止まっています。

<業況変化の要因>

販売や受注が増加したことで業績が向上している事業者があります。

ただし、多くは新型コロナウイルスの影響により販売・受注減が大きく影響しています。